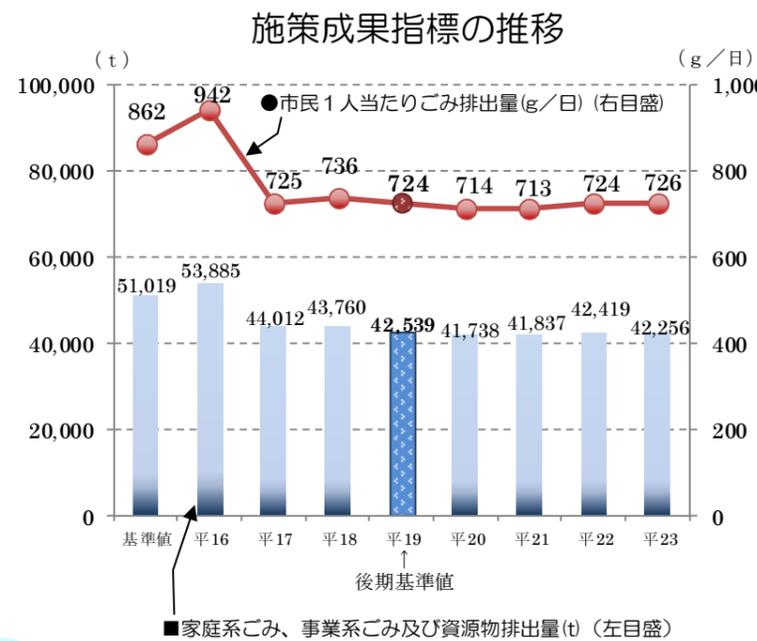


施策01-01 循環型社会の形成

目的	市民・事業者・行政の協働により、資源がリサイクルされ、ごみ排出量が減ることにより環境負荷の少ないまちを目指します。			
対象	市民、事業者、行政			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 19年度	現状値 23年度	後期目標値 25年度	達成状況
家庭系ごみ、事業系ごみ及び資源物排出量(t)	42,539	42,256	41,966	C
市民1人当たりごみ排出量(g/日)	724	726	720	C

第5次総合計画の取組

- 平成16年10月 可燃及び不燃ごみの有料化、危険ごみ収集の実施
- 平成17年8月 「循環型社会形成推進地域計画」策定
- 平成18年4月 新篠津の一般廃棄物の受入・処理開始
- 平成19年10月 環境クリーンセンター等長期包括的運営管理委託
- 平成20年8月 レジ袋削減に関する協定締結
- 平成20年10月 プラスチック・木類の分別区分一部変更
- 平成22年4月 生ごみ堆肥化助成範囲の拡大
- 平成22年10月 「大型ごみ収集の実施」、「不燃・危険ごみの収集回数変更」、「指定ごみ袋統合と5ℓ袋新設」、「ごみ処理手数料減免対象拡大」
- 平成23年3月 「一般廃棄物処理基本計画」策定
- 平成24年6月 不法投棄等情報提供協定の締結



目標を達成できる成果指標の分析

ごみの発生・排出の抑制については、排出抑制の啓蒙啓発等を継続して取り組む必要があります。特に事業系は、多量排出事業所へのごみ排出抑制等について広報等に取り組む必要があります。

適正なごみ処理の推進・啓発は、不適正排出処理件数はごみ分別の広報等を行なっていることから、また、環境クリーンセンター運転停止日数は、年3回の定期整備の実施により緊急運転停止を未然に防止していることから、目標を達成できると考えています。今後とも運転停止を未然に防ぐ取組などを継続する必要があります。

目標達成が難しい成果指標の分析

ごみ資源化の推進については、民間事業者による資源回収ルートが多様化が進んだこと、また、市としても自主回収や持ち込みの受け入れを行っているスーパーやリサイクル事業者を紹介していることなどから、目標の達成は困難です。今後は、市の資源物収集や自治会等の集団資源回収に加え、可能な限り再利用・再資源化ルートの広報等に努める必要があります。

ごみ処理の推進・啓発の不法投棄処理件数は、平成24年にタクシー会社及び郵便局と不法投棄情報提供の協定を締結し、今後パトロール業務の一部民間委託化により強化されることから、更に発見数が増えることが予想されます。今後は、早期発見及び早期対応による不法投棄抑制のために、情報提供の締結者を増やすことが必要です。

達成状況 ⇒ A：既に達成、 B：達成確実、 C：達成可能、 D：達成困難、 E：達成不可能

基本事業01-01-01 ごみの発生・排出の抑制

目的	市民・事業者それぞれが、過剰包装の廃止や生ごみの堆肥化など製造・流通・消費過程での改善を行い、ごみを「つぐらない」「ださない」ことにより、ごみの発生量・排出量を減らします。								
対象	市民、事業者								
成果指標	家庭系のごみ排出量(t)	後期基準値 平19	32,575	現状値 平23	32,126	後期目標 平25	32,050	達成状況	C
	事業系のごみ排出量(t)		9,964		10,130		9,916		C

基本事業01-01-02 ごみ資源化の推進

目的	市民・事業者それぞれが、分別収集やリサイクルなど積極的にごみの資源化を推進することにより、再利用・再資源化率を増やします。								
対象	市民、事業者								
成果指標	回収資源化量(t)	後期基準値 平19	10,883	現状値 平23	11,343	後期目標 平25	12,836	達成状況	D
	資源化率(%)		25.6		26.8		30.6		D

基本事業01-01-03 適正なごみ処理の推進・啓発

目的	市民・事業者に環境意識の啓発を行い、地域全体で適正なごみ処理が行われるようにします。また、ごみの収集・運搬・処理・処分について効率的かつ適正に行い、安全・快適な生活環境をつくれます。								
対象	市民、事業者、行政								
成果指標	不法投棄処理件数(件)	後期基準値 平19	97	現状値 平23	98	後期目標 平25	87	達成状況	D
	不適正排出処理件数(件)		501		425		450		B
	環境クリーンセンター 運転停止日数(日)		10		2		11.2以内		B

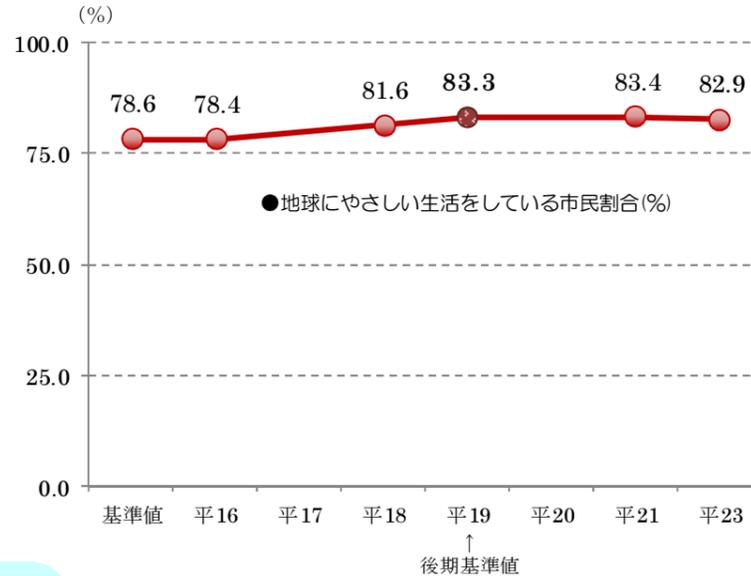
施策01-02 人と地球にやさしい環境の創出

目的	市民や事業者が環境負荷の少ない生活を送ることを心がけることにより、安全で快適な生活環境を目指します。			
対象	市民、事業者			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標 平25年度	達成状況
地球にやさしい生活をしている市民割合(%)	83.3	82.9	↗	C
公害発生件数(件)	0	0	0	B

第5次総合計画の取組

- ・平成16年4月に江別市環境マネジメントシステム本格運営、江別市環境管理計画(中期推進計画)の実施
- ・平成19年4月に江別市地球温暖化対策実行計画の実施
- ・環境教育等推進事業(買い物ゲームなど)の充実

施策成果指標の推移



目標を達成できる成果指標の分析

地球環境保全への取組については、東日本大震災に端を発した電力需給の逼迫と節電要請により、市民の節電・省エネへの関心が高まっていますが、今後とも市民への啓発を継続していくことが必要です。

安全な地域環境の保全については、これまでどおり公害が発生しないよう事業者への指導を今後とも継続していきます。

環境保全の取組に向けた環境教育・学習については、持続的な取組が大切であり、今後とも継続して取り組んでいく必要があります。

目標達成が難しい成果指標の分析

なし。

達成状況 ⇒ A:既に達成、 B:達成確実、 C:達成可能、 D:達成困難、 E:達成不可能

基本事業01-02-01 地球環境保全への取組

目的	地球温暖化防止等に向けて、環境負荷の少ない環境重視型生活・活動を行うことによって、地球にやさしい生活を送ります。								
対象	市民、事業者								
成果指標	省エネに取り組んでいる市民割合(%)	後期基準値 平19	47.9	現状値 平23	45.9	後期目標 平25	↗	達成状況	C
	環境配慮活動に取り組んでいる事業所数(事業所)	25	25	33	30	30		A	

基本事業01-02-02 安全な地域環境の保全

目的	大気、水質、騒音、悪臭などの環境問題に対応するとともに、市民・事業者へ情報を提供することにより、産業公害や都市・生活公害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な地域環境を守ります。								
対象	市民、事業者								
成果指標	排出規制基準値超過事業所数(事業所)	後期基準値 平19	0	現状値 平23	0	後期目標 平25	0	達成状況	B

基本事業01-02-03 環境教育・学習の推進

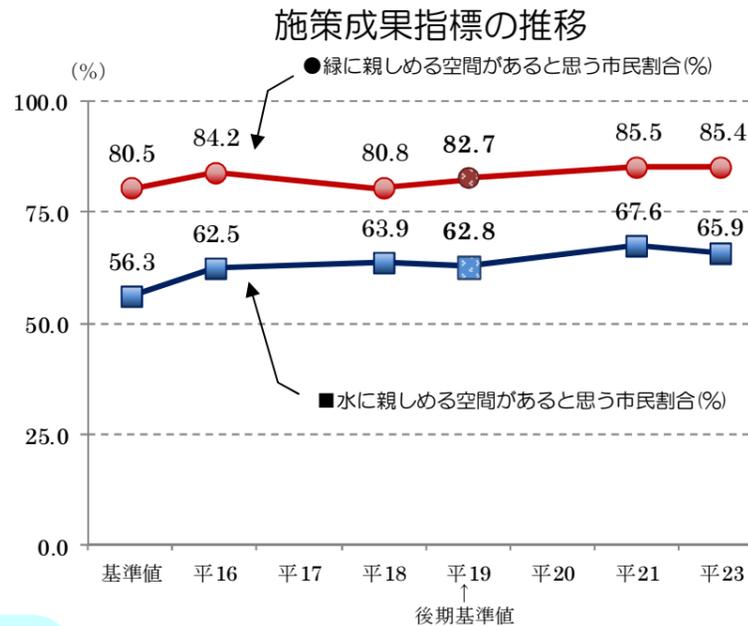
目的	市民・事業者が環境に対する責任を自覚し、環境保全のための取組の意欲と能力を高めます。								
対象	市民、事業者								
成果指標	環境活動参加市民割合(%)	後期基準値 平19	12.3	現状値 平23	13.4	後期目標 平25	↗	達成状況	C

施策01-03 水とみどりの保全と創出活用

目的	市民・事業者・行政の協働により水と緑が豊かで、快適なまちを目指します。			
対象	自然環境(緑資源・水資源)、市民、事業者、行政			
成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標値 平25年度	達成状況
緑に親しめる空間があると思う市民割合(%)	82.7	85.4	↗	B
水に親しめる空間があると思う市民割合(%)	62.8	65.9	↗	B

第5次総合計画の取組

- ・平成16年4月に江別市緑の基本計画の実施
- ・環境教育・学習の推進の中で、水辺の自然に親しむ事業として、次の事業を実施
 - 「水辺の自然塾」(平成21年から)
 - 「弁天丸で学ぶ石狩川」(平成23年から)
 - 「ボートで学ぶ千歳川」(平成24年から)



目標を達成できる成果指標の分析

社会的な自然環境への関心の高まりの中、市民の憩いの場である野幌森林公園、雄大な流れの石狩川など自然を身近に感じることができる環境であることから、今後とも、身近な水とみどりの保全に取り組んでいく必要があります。

目標達成が難しい成果指標の分析

花のある街並みづくり事業については、自治会の担い手の高齢化などにより、参加団体を増やすことが難しい状況となっていることから、今後は花壇の維持管理手法の負担軽減化などといった取組を検討する必要があります。

自宅で緑を育てている市民については、50代以上の年齢層では多くなっていますが、若い世代では、アパート住まいの単身者や共働き世帯等が多く緑を育てている市民が少ないことから、今後は自宅で緑に触れることを啓発するなどの取組を検討する必要があります。

達成状況 ⇒ A:既に達成、 B:達成確実、 C:達成可能、 D:達成困難、 E:達成不可能

基本事業01-03-01 水とみどりの保全

目的	市民と事業者、行政が協働して地域の水と緑を守り、身近な自然環境や水辺環境を守ります。								
対象	自然環境、市民、事業者								
成果指標	地域制緑地(緑地保全地区等)面積(ha)	後期基準値 平19	5,240	現状値 平23	5,240	後期目標 平25	5,240	達成状況	C

基本事業01-03-02 水とみどりの創出活用

目的	市民・事業者が、木や花を植えるなど緑を育てるとともに、水辺を活用し水と緑を感じ、ふれあうことにより、潤いのある緑豊かなまちづくりを目指します。								
対象	自然環境、市民、事業者								
成果指標	花のある街並みづくり事業の参加団体数(件)	後期基準値 平19	106	現状値 平23	103	後期目標 平25	120	達成状況	D
	自宅で緑を育てている市民割合(%)	後期基準値 平19	59.4	現状値 平23	56.3	後期目標 平25	↗	達成状況	D